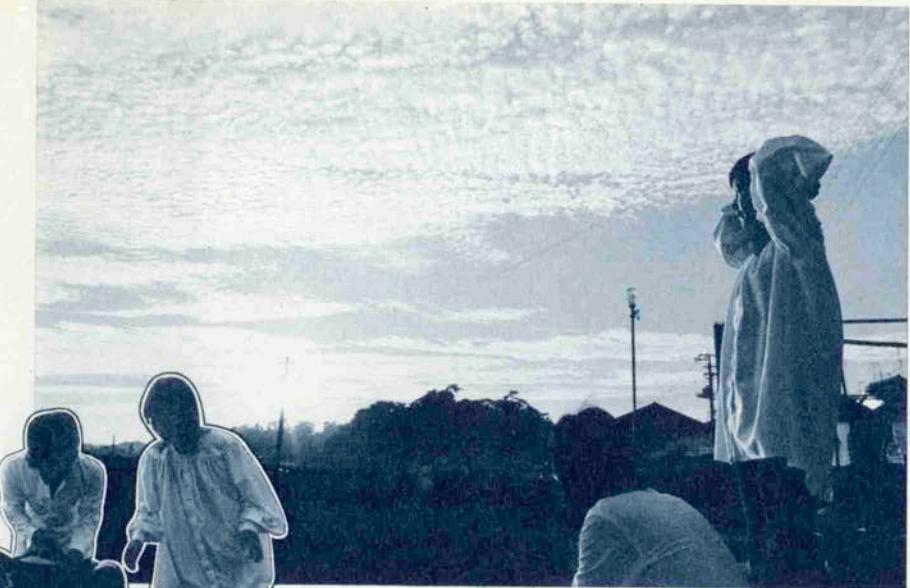


VA

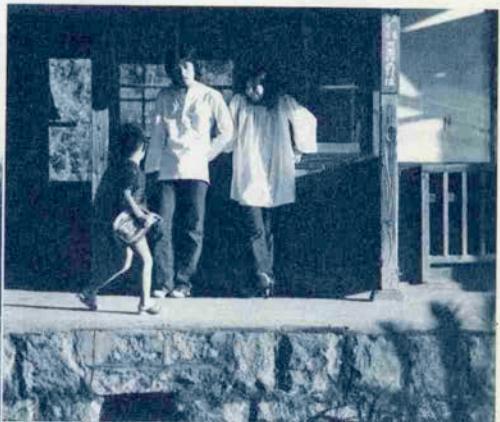
ふたり  
未  
知  
し  
に  
雲  
る



うろこぐもにだいだいいろの夕陽に下津  
井の漁村。バクダンみたいで重そうでよ  
いしょと持ちあげたらひょんと持ちあが  
ってこれ浮きなんだって……。



「ぼく幼稚園?」「うん」線路  
をつたって歩いてきたぼうや  
線路をつたって歩いていった。



# KURASHIKI



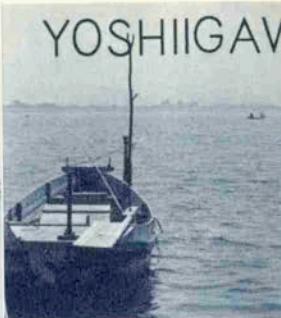
あこがれの倉敷の白い土壁によりかかってロマンチックな時を過したら背中がまっ白になってしまったのだ。



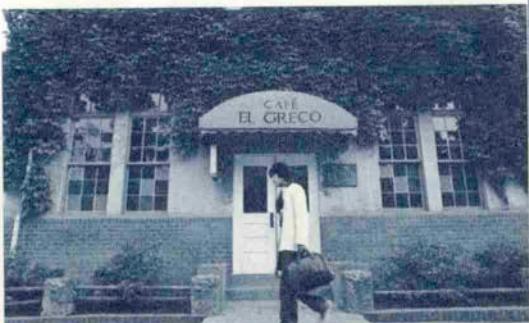
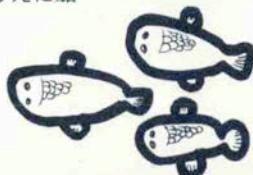
倉敷で大原美術館と並んで有名なのが“EL GRECO”というカフェーション。冷房のない室は自然の風がさわやかです。



# YOSHIIGAWA



ちいさなちいさなさざ波と大きな大きなねった波と重なって重なってずうーと続いていて、まるで大きな布のうえに船が浮んでいるみたい。

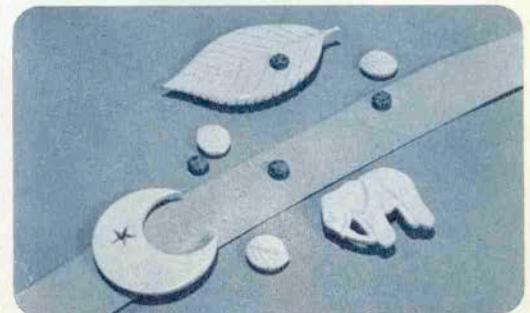
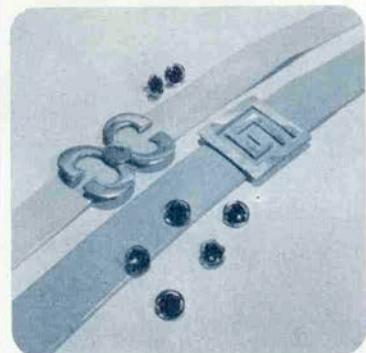


海を見ていた花嫁は  
素足で愛の波に乗る。



アダムとイブの禁断の実はアップル  
だったけど、紅色のベルトとブーケ  
のペア、ボタンとイヤリング、指輪  
のペア、何だってペアなら歓迎です

ドレス / 三愛 白いブーケ / ドンタ



サイトウヒロシのオリジナルボタンの店

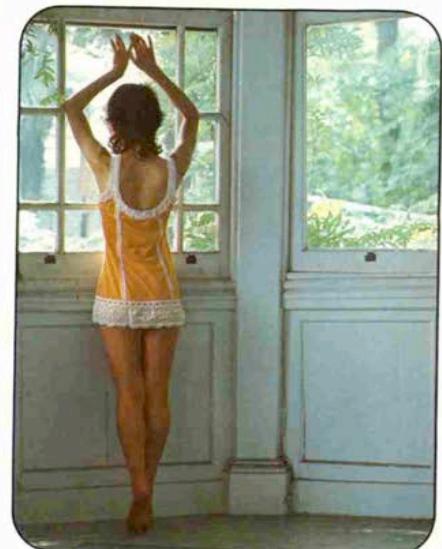
ファニー

さんプラザ 3 F TEL 391-0084

*le premier  
Matin pour deux*



ベビードール／エスター・ニーヴー



スリップ・ベビードール／ヤマトヤショップ



オートクチュール

ウインター

さんフラザ 2F TEL 331-7952

あす御根衣類上処

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL 331-2168

樹木と雲と川の流れと

未知らぬ街の風景を

はぎっていく男と女

生まれたばかりの優しい物語り作者



オートクチュール

CASSETTE

神戸大丸前 TEL 391-4992

婦人靴専門店

シーショアン

さんプラザ 1F TEL 391-5078





あなたとの透明な幸せは

まだ遠い旅路にあるのだけれど

陽も明日染めぬ 早い朝

川に小舟を出しましょう

幾重にも幾重にも重なりあう

波のレススを譲きながら

話して怠いてはなりません



婦人服飾  
KOBE

ペニヤ

三宮センター街TEL 391-5528

フレーザン・サンリオカエ・スカーフ・ハンドタオル・ニット・モン  
岡山・吉井川河口にて



LE  
FIN

岡山・下津井にて ブラウス/テラス・ド・アルフィ



## HOOK フック東店

神戸市生田区栄町1-5-3 TEL(078) 321-3207~8

SNACK RESTAURANT

# AenE

元町3丁目97  
TEL (331) 0320



## KOBE GUIDE



和風スナック

# 七福

中山手通2丁目75  
伊藤ビル地階  
TEL. 321-1425



DRINK & SNACK  
スネカシリップス

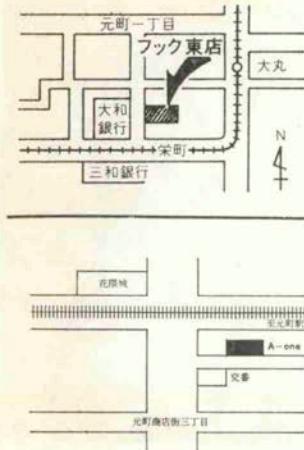
中山手通2丁目13  
永晃ビル地下  
TEL 391-8708



★さわやかな初秋の風が夏の暑さで疲れきった神戸の町に息吹きを与え、活気を取りもどす。

潮風の近い“フック東店”は、神戸らしい、食べる人の身になったインテリアとサービスで神戸ステーキが味わえると定評のあるレストラン。オフィス街や港に近いせいもあって、食事時にはサラリーマンや外人客で賑わいを増す。ステーキの他にスイスのフォンデュ鍋もあり落着いたムードの中でマンズワインのグラスを傾けながら食べる料理の味はここならではのもの。お友達と、あるいはご家族連れて、お気軽にフックの味覚をお楽しみ下さい。

営業時間A.M.10:00から24:00まで。



### フック東店

### エーワン

KOBE  
GUIDE

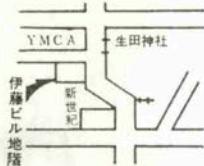
### スネカジリッ子

★暑い夏が過ぎ、さわやかな初秋の訪れとともに日本料理が恋しくなるのは、食欲の秋、のせいだろうか。

生田神社西側、伊藤ビル地階の和風スナック“七福”はお客様好みに応じた日本料理を何でもとりそろえ、新鮮な味覚を満喫させてくれる。日本情緒豊かな店内には涼しそうな生簀も置かれ、着物姿の美しい女性のきめ細やかなサービスも嬉しい。季節によって味覚の異なるパラエティに豊んだ日本料理は七福ならではのものだが、暑い時には特に鯛や海老の活造りが喜ばれている。前もってお座敷の予約もできるので小グループでも楽しめます。

P.M.5:00～A.M.1:00 年中無休。

### 七福



★九月の残照が強い力で神戸の街に照りつける。生田新道、相互タクシー向いの“スネカジリッ子”には真黒に日焼けした神戸っ子たちが夏の想い出をひめて集ってくる。ここで交される会話が飲む人の心を結び共通の想い出を形づくる。井上剛吉君をはじめ、若くてダンディなバーテンさん達は昼間は学校に通い夜はここで働くがんばり者。カウンターの他にこじんまりとしたボックス席もあるのでグループでも気軽におしゃべりを楽しめる。一度足をはこぶとすっかり魅了されてしまう素適な店、若い人からご年配の方までファンも多い。

水割G&G ¥300、ビール（小）¥200、おつまみ¥100

ピッタツ ¥350、ミニチュアピン（W）¥500

P.M.5:30～A.M.1:00 第1、第3月曜日休み。

# MAKE UP すばらしいあなたに… WITH ROYAL

'71から'72へかけてのサングラス品揃へ  
国産も舶来も絶対豊富に.....



めがねの御用命はお気軽に神戸眼鏡院で御相談ください  
★自動車にてご来店のお方様は駐車券進呈!

元町店=神戸市立花隈駐車場

さんちか店=神戸市立三宮駐車場

## 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 駐321-1212代表

三宮店・さんちかタウン 駐391-1874～5

# Happy Wedding



北欧の銘菓  
**ユーハイム・コンフェクト**

■本社・工場 神戸市真合区熊内町1(市立美術館東隣) TEL 221-1164

■三宮センター店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421

■さんちか店 神戸三宮地下街スイーツタウン TEL 391-3558

# The Motomachi Story

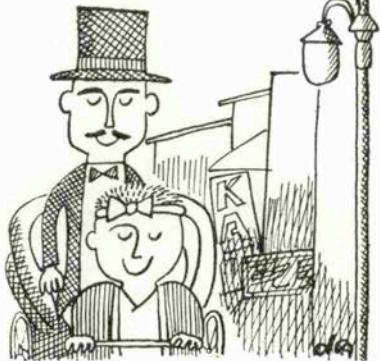
●対談 100年を迎える

## 元町物語



■出席者

飛田昌久  
<啓明女学院々長>  
荒尾親成  
<元南蛮美術館々長>



講集部 エキゾティック・コウベの発祥のストリート、元町が、百年を迎えました。モダン神戸を生んだ店々、元町に生きた人々のエピソードから、元町の生きた歴史をふりかえってみたい思います。

### ★神戸港開港に生まれた 中国人街からの発展

神戸港が開港したのが、今から百三年前、慶応三年十二月七日、西暦一八六八年の正月元旦。明治元年当時の人口は、元町通り、西園街道の周辺に三千七百人、戸数にして九百戸。兵庫の街には二万人、戸数にして五千戸だった。住人は船大工、半農半漁家、造り酒屋などが多くった。慶応四年に出た開港経緯によると、西園街道、元町では一丁目から六丁目まで十の町名が記され、東には東町、市場町、城下町、西には西町などがあった。ところがこの東のソデに外人居留地が置かれ、貿易も盛んになり、ゲンのいい名前といふことと元の町を残そうというで元町という通りと、南の方にもうと大きくな通りとして栄える意味も汲んで、栄町と名付けた。

荒尾 明治元年、神戸港の東の袖に外人居留地ができました。鯉川が西の境、生田川が東の境で、「居留地八万坪」といいますが、入ったのはヨーロッパ人ばかり、中国人は入れませんでした。そのため伊藤博文に頼んで、居留地を宇治川まで拡げてもらつたのです。待つてましたとばかりに、華僑がずっと入居しました。作家の陳舜臣のおじいさんも海産物問屋とし



氏 久 昌 飛

るのではなく、発展させる要素を東西南北に控えさせていたといえますね。

編集部 南京街ができたのはいつ頃ですか。

荒尾 割方早く、花隈より先でした。今とは全然違い、まるで支那へ行つたような雰囲気でしたからね。その時分は男はべん髪、女は纏足。明治四十一年に孫文がべん

髪 纏足を禁止したが、大正十年位までこの因習は続いてました

ね。大概の家にべん髪した少年がいて「反物いらんか」といって売

り歩いていましたね。

飛田 孫文が人力車に乗つて、京町を通りましたね。

荒尾 明治初年に開港した時、一番の本拠が今の税関と宇治川尻で中突堤のことですか。

飛田 中國との貿易が盛んだったその真中にできたので、中棧橋といつたのです。後で突堤になつてから中突堤と名称が変わりました

★中尾ヤタがヤタナカオに

編集部 当時の街で印象に残つておられるることはどんなことですか

飛田 元町の入口から三越まで元町で、今のような元町は昔の良さはありません。組立の家の

ような味氣ないのですね。

荒尾 昔は、漆喰格子の本建築の旅館なども並んでいました。この

ように元町は元町だけでできてい

て入りましたね。華僑は商売上手だから、貿易も盛んになり繁盛しました。ところが、日本の風習で女性を連れて来ることを許さなかつたのです。長崎もそうでしたがね。従つて、独身で來た中国人に金ができるなら、日本の花柳界の女性が集まりました。それで、二号にして住まわしておく場所を花隈にしました。その時分は葉種烟でしたけれど、街にしたのです。そして、マークとして南京街を作りました。

こうして、中国人の元町、二号さんの花隈、東の袖には外人居留地、南には南京街、加えて神戸駅に今の元町駅（当時の三宮駅）と交通機関を押さえて発展したのです。戦後になると、センター街が阪神と阪急を足に押さえていま

瀬戸内帰りも混りたり  
集まる船の数多く

神戸は五港の一にして

編集部 中国との貿易が盛んだった

その真中にできたので、中棧橋といつたのです。後で突堤になつてから中突堤と名称が変わりました

瀬戸内帰りも混りたり  
集まる船の数多く

元町駅（当時の三宮駅）と

交通機関を押さえて発展したのです。戦後になると、センター街が阪神と阪急を足に押さえていま

うように元町は元町だけでできてい

飛田 ほとんど戦災で焼けました

が、安田銀行が残っていましたね

荒尾 頭に残る立派な店を東の端からいっていきますと、元町入口

の北側に、田中儀一商店、元町のネ

ル屋実業銀行、肉屋、川瀬日進堂、

明治屋、牧田毛皮屋、井上足袋屋、

市田写真館、美田時計店、高砂

屋、高橋の鞆屋、林小竹堂、播新

骨董、栄屋、備前岡山藩の菩提寺

善照寺、カイト糸屋、扇月堂、放

香堂茶屋、柴田音吉商店、四丁目

に交番木下勢三のガス器具店屋。

セイモン払いでの年の瀬にはそこで

ガス焼をした。赤壁と安井カメ

ラ、五丁目に入つて宝文館、ヤタ

ナカオ、大和屋のシャツ、江戸時

代からのタンバ洋品店、亀井堂、

三星堂、玩具屋の清島、というと

ころが印象に残っています。

編集部 周辺で古い所といいます

と？

荒尾 古くは光村、岩佐竹之助商店、鈴木商店、朝日新聞、神戸新聞、時事新報、読売新聞が三越の一角にありました。それから今の

三菱銀行西町支店の建物は古く、明治三十年頃のもので、当時、か

なり立派なものでした。その隣に自由亭ホテルがあり、後に鈴木商店に買われて焼打ちに会いましたがね。

飛田 当時の三宮駅は、坪内駒平理髪店を上つた土堤の上にあつて、みすぼらしいものでした。荒尾 明治調の駅で、高台にあるため金の手摺がついた階段を上るのです。その南側に名物の店がありましたね。古本屋が五軒位あります。山重蒲鉾屋があつて、浦島太郎が蒲鉾にされて龜に乗っている看板

が上つていました。そのほか小西ゼリーボンボン、清水の医者が印象にあります。

飛田 お医者さんでは藤井歯科、磯田耳鼻科ですか。荒尾 元町通りに澄川歯科があって、男前の先生やから、いつも待合室は花限の芸者でいっぱい。金歯を入れるのが上手でしたよ。

変わったところでは、売れるのか売れんのか知りませんが、明治時代の古めかしいカンカンが置いてあるだけの今井善兵衛度量衡店があつて「あれでよう立つていくな」というような店でした。

飛田 中尾ヤタという名前の人�이て、外国読みに「ヤタナカオ」として、店名にしましたね。舶来品を置いた有名な店です。

荒尾 その隣に、キリン屋というネクタイ屋がありました。昭和二年頃、ラジオが流行つた頃、三笠ラジオ店がよく繁盛しました。

飛田 多聞通りにシバニ商店がありませんでした。

荒尾 主人は今、会下山にいらっしゃいますよ。

飛田 石けんがどこよりも安い、よく売れて後にデパートにしました。

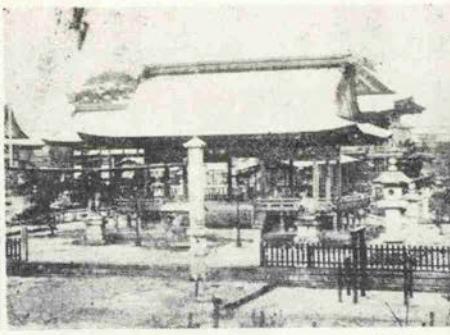
荒尾 石けんのシバニ、ラジオの三笠、ネクタイのキリン屋、シバニの大和屋と決まつていたもので



氏成親尾荒



明治15年頃、吉川市助商店（今の風月堂）



明治10年頃の漆川神社（明治5年創建）元町通りは楠公さん  
へ参る道が発展したものらしい。



明治4・5年頃の元町通り

飛田 大丸デパートも昔は元町三丁目にありました。デパートは三

越の方が草分け、三越は損をしてあります。商法が下手なのかな。

荒尾 三越の近くに、明治初年に月下亭という牛肉のスキヤキ屋

があつたが、その後に建つたのが大井肉店です。

飛田 鳥音が相生橋にありました

荒尾 元町五丁目南に、二階建日本家屋で猪を食べさせる店がありました。それから「八百重」で河豚を食べさせていました。元町二

丁目南の日乃出食堂は学生の間で人気がありました

### ★長州藩士を隠まつて 繁盛した宿屋

編集部 元町の人物史を語つて下さい。

荒尾 元町四丁目に江戸時代から続いた宿屋「鉄屋」に専崎弥五平

という人がいて、市会議員から助役になつたが、なかなかの人物でした。長州藩士の伊藤博文、高杉晋作、久坂玄瑞が逃げて来たのを「鉄屋」に隠まつた。その恩を忘れずに博文は何かと面倒を見たために「鉄屋」は大もうけして、今

の三越の下に大きな屋敷を構え、そこへ明治天皇をお泊めした。それが未だに残る「明治天皇御駐輦跡」です。その二代目弥五平は

伊藤博文の御落胤といわれた大人しい人でしたが、市会議員から鹿島房次郎市長の折りの助役になりました。

明治十年に西南戦争が起こりました。

したが、官軍の輸送基地が神戸でした。三越の南が兵糸基地だった

ここでもうけたのが、三菱になつた岩崎弥太郎と光村弥兵衛でした。

それから大正七年八月、米騒動の時、鈴木商店と共に焼打ちにあつた岩佐竹之助の店は元町三丁目、今の馬券売場の南側にありました。この人は諏訪山の下に岩佐御殿を作つて、英國のプリンス・オブ・ウェルズが大正十年に来日

した時、岩佐御殿に泊られました。このような実業で名を成した

人が、元町通り南、栄町側に軒を並べていました。

編集部 文化系の人物ではどん

方がおられましたか。

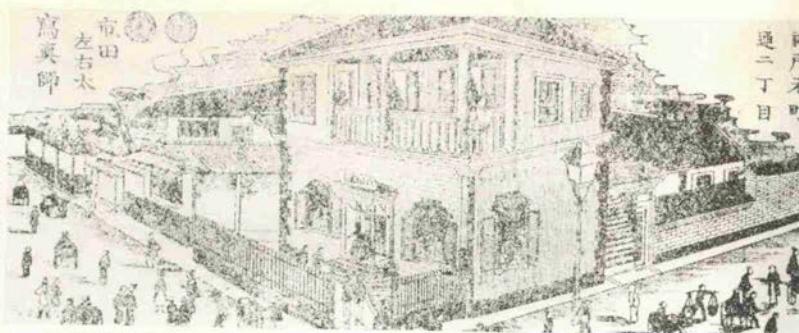
荒尾 菊田一夫が元町五丁目の珍物屋にいました。加美の素の山敷さんは五丁目にあつた薬屋に奉公

していたということです。琵琶湖のほとりから出てきて元町を通っていたら「ボンさんになります」と書いてある店に入つたのが薬屋でした。商売上手な男だから、

から入ってきた紙白粉に目をつけ、商売をやり出しました。山敷神港堂として一本立ちしてカミックスという水虫の薬を売り出したり



明治15年頃の靴屋さん



明治15年頃、元町通りの市田写真館

しました。それが加美の素に発展したのです。元町から出た出世頭はこの二人でしょう。

**飛田** 私の元町とのつきあいは、

明治四十年頃からですか。当時はヤタナカオ、明治屋、お座敷料理の三輪、今のじやない昔のね。それから安田銀行、その横に狭い理髪店があって、坪内駒平がいた。そういえば、あの辺りから市会議員が沢山出ました。近藤建一、木下勢造、清島甚吉、西本茂吉、それに有吉忠一知事が書生の頃にいたかな。

### ★野球の選手なら

ただで食べさせるオムレツ屋

ヤオジユウという料理屋があった跡に「ビーハイブ」ができたが、「ビーハイブ」は三越の受け渡し係長をしていた高山一良が津島の士族の娘であった奥さんと一緒にやり始めたものです。洋食屋なのですが元町の目抜き通りで、方々から迫害されて、何の理由もなく警察へ引っぱられるなど、商売がやれなくなるまで迫害されたけれど、頑張って「ビーハイブ」を盛んにしましたね。思いきり仕事をした人です。

名物店としては、果物屋でオムレツを食べさせる「今尾」という店がありました。大正十年頃だつ

たかな、お親父さんがまた名物男

で、野球が好きなため、野球の選手ならただで食べさせていました。

二出川選手もよく来ていました。店の入口にメモがおいてあつ

て、いちげんの客でもそれに住所

氏名をサインすれば、つけて食べさせる。貸し倒れもあつたけど、も

のすごく良くなっています。

オムレツもすごくおいしかった。ちょっと遅れてでてきたのが、こ

の北側に、川瀬日進堂、その北を入ったところに伊藤グリル。

**編集部** 伊藤グリルは昔からあったのですね。

**飛田** 昔の元町の方が神戸の味がありました。今の味は文化住宅と同じです。

荒尾 東京の銀座、大阪の道頓堀神戸の元町といえば、品の良い街でした。その中でも元町は文明開化の玄関口、非常にモダンな街として、特徴がありました。菓屋でも元町に早く出来た西村蘭更堂、三星堂ができるのは明治三十一年蘭更堂のお孫さんが画家の西村元三郎さんです。

ところで江戸時代からの有名な実業家で、今井善兵衛という度量衡屋があった。その息子で、四十歳になつても独身の名物男がいた飛田先生が神戸市連合青年団の理事をしておられる時、今井善兵衛も理事をしていました。そんな折



明治40年頃の元町通り



明治30年頃の元町通り



明治15年頃元町5丁目、西洋小物のタンバ商店

その息子を遊廓に連れていったら  
どんな顔しよるかみてやろうと、  
おもしろ半分に福原へ連れていつ  
ておまけに仲間の金を払わせたこ  
とがありました。私はゴンタやつ  
たね。(笑)

編集部 そのほか人間的な事件は  
ありませんでしたか。

荒尾 四代目市長の鹿島房次郎さ  
んに後追い心中した花限の歌代  
さんという芸者がいましたね。鹿  
島さんの二号でしたが、大工さん  
のところへ、鹿島さんが親代りに  
なって嫁入りしました。二年程し  
て、姑との折り合いが悪くて帰っ  
て来て、元どおり鹿島さんの二号  
になつた人です。且那の四十九日  
の日に、仏壇の前で、足をきらん  
とくくり、カミソリで喉を切つて  
死んだらしい。花限の美談ですが  
湯沢三千男さんが隨筆の中で書い  
ています。

湯沢さんは、非常に粹なおもし  
ろい人でしたね。昭和十年頃の知  
事で、後に内務大臣をした人です  
が、元県知事の金井元彦さんを連  
れてきたのもこの人です。神戸新  
聞の下に「生一本」という店があ  
りますが、あそこのママさんが現  
役の芸者だった頃、湯沢さんが肩  
入れして、神戸新聞のお偉方や名  
士連に株を持たせて出させて作つ  
た店ですワ。

そんな折り、阪本勝元知事が副

知事を推選してほしいと湯沢さん  
に頼んだところ、金井さんを推薦  
したといういきさつがあります。  
このように政界にも勢力があつた  
一面、花柳界の裏話にも通じてい  
ましたね。愉快な人でした。

### ★昭和初期の美人投票異聞

編集部 元町の美女は如何ですか  
荒尾 元町小町はいませんね。し  
かし魚庄、今の協和ビルの上田進  
三郎のお母さんがきれいでした。

今年八十八歳になられますが、若  
い時の写真を見せてもらつたら、  
ほんとうにきれい、あそこは皆美  
人党ですね。

飛田 宝塚歌劇の女の子がよく元  
町へ来てましたね。

荒尾 若き日の初音礼子がよう歩  
いていました。坂のある街の商店  
街は坂の上方へ作つては駄目で  
すね。やはり下つて買物に来やす  
い。元町の上には、県立第一高  
女、親和、松蔭などがあつて、女  
学生が買物に来ました。それがま  
た一つの景物になりました。

昭和二・三年頃、神戸新聞と又  
新日報が対抗して、美人投票をし  
ました。その中で、元町から出た  
のが、「ウーロン」という喫茶店  
の飯沼トシ子という美人でした。  
それから市会議員の西川プロペラ  
翁の娘——プロペラというのはブ



大正14・15年頃、すずらん灯のならぶ元町通り  
(すずらん灯は13年にできた)



大正14・15年頃、今も残る林小竹堂（美術品商）



明治40年頃の元町通り東側。三宮神社と山に伸びているのがトアロード。

ロベラのように舌がよく廻って弁が立つ、しゃべり出すと止まらん、何處へ行つても一言なかるべからずの男の娘で、西川さん正子、が美人投票に立候補しました。市議員が下町の中へ入るとは何事かと書く者もいるし、美人だから仕方がないと書く者もいる。中にはそんなことを書いてよそへ売るうとしている不良少女の一昧やと書いた者もいました。それに対し父親がカンカンに怒つて、名譽毀損で告訴しました。その時、万才の砂川捨丸の相手方、春代も立候補してましたね。

### ★粒よりの店が揃う元町を 大切にしたい

編集部 では元町の流行った理由はどういうものでしょうか。

飛田 良い店が集まつていましたからね。由緒と権威を持つています。

荒尾 映画館は今はどこにでもあります、昔は映画は新聞地、買物は元町、それも高級品ですね。安物は小野の中道筋とか場末にありました、元町はそれほど権威を誇つていたのです。

飛田 やはり戦災が大打撃だったのです。

いからです。

けれども戦後二十六年、復興しつつあります。一丁目から三丁目まではやや復興したと思います。

五・六丁目が立ち遅れですね。交通機関の関係でしょう。

飛田 しかし今でも元町に匹敵する街はないでしょう。昔は流行るだけの理由、商品のオリジナル性があつたわけです。今はそれが難しくなりましたが、粒よりの店が揃うということがこれからも大事ですね。

△お可川にて 文責／編集部

写真・版画は荒尾親成氏提供による。版画は明治十五年出版の『P.R.誌、兵庫神戸の豪商「港の魁(さきがけ)」から。

荒尾 戦後は物がありませんでしたからね。やはり食べ物にとびついたのが闇市です。次に衣服。住まいと生活が良くなるに従つて、元町が元へ戻らないかんのに、どうさくさにてきた、元町と中道通りの渡り廊下だったセンター街が繁盛してきました。昔からの家柄を誇ってきた元町は、急に何んでもかんでもするというわけにはいきません。飛田先生が住んでおられる熊内町は一流の住宅街でした

が、今は人が戻ってきません。そこに住んでいた人はもう資力がないからよう立ち上れません。それと同じで元町も戻つてくる人が少い。何故なら悪いことをようしないからです。

## 「美術傘の会」

★神戸の洋画家の歴史づくりを  
中西勝さんの提唱により、神戸

の洋画家を中心とした美術の歴史  
を明確にしようと、朝倉斬道さん  
別車博資さん、江田誠郎さんなど  
の録音が続けられています。

次回は、水墨画の水越松南さん

の録音予定。

また、映画は、小磯良平画伯の  
回顧展のパーティでのサツエイを

の録音予定。



以上のような形態を続けて、神  
戸洋画家史を元町画廊から発行し  
ようというもの。次回からの録音  
時には傘の会の会員も共に聴こう  
と企画されている。

★神戸名士珍品展

神戸の名士がそれぞれ蒐集して  
いる珍品を一同に集め、生田神社  
のえびら会館において十月に開催

しようとしている。のみの市より  
も「蚊の市」としてはどうかとい  
う案がでているがさてのみになる  
か蚊になるか。

★心理的に見た児童画展

子供たちの生活と成長を児童画  
から心理学的に見てみようという  
児童画展が、神戸ナショナルショ  
ウルームのギャラリーで、七月一  
日～二十日まで、傘の会児童画研  
究会（中西勝、田中一朗、小西保  
文、久国隆久、樽谷慶造、三沢冷  
爾さん）によって開かれた。

「ミス・ショウは幼児の絵を色の  
作文と名付け、故宮武辰夫氏は幼  
児の絵は生活の記録であると呼  
び、コツクルは絵は子供の心を覗  
く眼鏡だと名句を残すなど先覚者

たちは、美術教育に心理学的視野  
を開いてきました。特にアルシウ  
ラー・ハトウイックの「絵画とパ  
ーソナリティ」のレポートは、子  
供の心理と色彩との関係に貴重な

手がかりを与えたが、色や形  
やストロークの因果関係が十分解  
明されず新しい視点からの追求が

待たれていました。その先べん  
をつけたのが日本児童画研究会主  
宰の浅利篤氏で、私たちもその研

究に敬意をはらう」とのべて、児  
童画の発表展を行つた。

★阪本勝・中西勝二人展  
えびら会館で九月上旬より書画  
展が開かれる。

## 「傘の会」とは

この会は、文化の諸分野で活躍  
している者の自由な交流と提携を  
通じて、技術時代に生活する人々  
のあいだに人間としての主体的な  
自覚をたかめ、会員の相互の研鑽  
をはかるとともに、地域の文化の  
向上に直接に寄与することを目的  
とするものです。

「傘の会」事業計画。これは実行  
可能なものから逐次計画して実行  
しようというもの。

★「傘の会」事業計画。これは実行  
可能なものから逐次計画して実行  
しようというもの。

幸せな二人の  
縁を結ぶ  
結納儀式用品



結納儀式用品

# 遠藤福寿堂

神戸大丸 姫路やまとやしき  
そごう神戸店 姫路山陽百貨店  
東店 トア・ロード那須 2階 TEL (391) 1871~3  
西店 長田区市バス菅原東入る TEL (575) 2251~3



呉作陳設  
みよしや

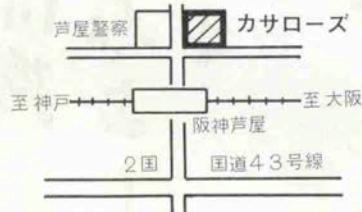
神戸店 大  
電話 神戸 (33) 1321  
大阪店 阪神 百貨三番前  
電話 大阪 (345) 8888  
姫路店 姫路 丸八四番  
電話 (345) 8888  
② しき九番前  
二三貨物店 三三番  
二二店 四四番  
二二番階番階 代代前

# 薔薇の館の 華麗なる幕開き

薔薇の館〈カサローズ〉はみなさまの  
広間です。忘られぬ想い出を創り楽し  
い未来を夢見られますように

## ● MENU ●

サントリーオールド	¥ 300
フィールズ類	¥ 300
ビール	¥ 250
コーラ	¥ 200
ピツツア各種	¥ 400
チーズクラッカー	¥ 200



4 : 00 P.M. ~ 12 : 00 P.M.



CASA  
*ROSE*  
ASHIYA  
31-2710

